

2011年11月13日 ACAP 西日本支部

大阪府高槻市主催 高槻市食育フェア2011 報告



難問に頭を悩ませる小学生達



親子で食育を考える良い機会に



【実施日】2011年11月13日(日)

【展示場所】高槻市立第一中学校 体育館

【企画】高槻市保健所保健総務課

【開催内容】

2011年11月13日(日)、高槻市立第一中学校の体育館において「高槻市食育フェア」が開催された。「『食育』ではぐくむ健康 みんなの未来」をテーマに、食育を広く市民に啓発する目的で、2006年より実施されている。今回も、関係団体、地元企業や学校などから体験型のブースが数多く出展され、ステージコーナーでは、歯科衛生士の「自分の歯でおいしく食べよう」、「学校給食の試食」など様々なイベントが催された。近隣の公園野球場では「第38回農林業祭」も開催され、多くの親子連れが来場した。

ACAPは昨年に引き続き、啓発冊子の展示・配布とクイズ大会を実施した。クイズ大会では、午前はステージでの出題形式、午後はペーパー形式で、業種交流食品グループの協力を得て、リサイクルマークやアレルギー表示、食料自給率の問題など、食と健康に関するバリエーション豊かなクイズを出題した。農林業祭でもクイズペーパーが配布され、答えを記入してACAPコーナーに持ち寄り、にぎやかなコーナーになった。小学生の親子連れが大半であり、中には難問と思われ

る出題もあった中、非常に正答率が高く、会員企業から提供いただいた景品を手に、大喜びで親のもとに向かう子供達の微笑ましい姿があちらこちらで見受けられた。

また、展示ブースでは、啓発資料を興味津々に手に取り、日頃気になっている食に関する疑問や料理レシピが記載されている冊子を複数持ち帰る方が多く、非常に盛況であった。

健全な食生活の推進には、生涯を通じて「食」の実践の場である家庭の役割が大きい。親子で楽しく「食」を学ぶ機会を通じて家庭への情報発信をたゆみなく続けていくことが大事である。ACAPは、今後も行政の食育事業に協力・支援し、食生活の向上、健康な身体づくりに寄与したいと考える。

田川 保(西日本支部 啓発・交流部会理事 南大阪地区担当／日本ハム)